

杉並区

都市部自治体におけるインフラ維持管理の包括的民間委託モデル構築

【テーク】持続可能なインフラマネジメントの実現 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】道路・橋梁・公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

【事業方式】コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

インフラの維持管理を担う職員や事業者の不足が深刻化する中、地域インフラ群再生戦略マネジメントの検討を進める過程で、当区では包括的民間委託が有効な解決策になり得ると考えている。新技術活用や地域振興と女性参画を視野に入れた持続可能な包括的民間委託モデル構築を進めていきたい。

①解決したい課題

«杉並区が抱える課題»

- これまでインフラの維持管理が主要業務であったが、当区では幹線街路の整備が未だ50%と遅れていることからも、主要業務が新たな都市基盤整備に関する業務へと変化してきている。
- 建設系技術職員の減少や区内事業者の高齢化等担い手不足が顕在化している。
- 老朽化したインフラの維持管理に加え、毎年5,000件を超える住民要望・苦情への対応に追われ業務が逼迫している。
- 既存インフラを良好な状態に維持するとともにインフラ維持管理の効率化を図るため、持続可能な官民連携によるスキームの検討・導入が必要。

«課題に関する取り組み状況»

- MCRや区公式LINEにより区民が直接道路の損傷等を区に通報するなど、デジタル技術を活用した住民参加の取組を進めている。
- 地域インフラ群再生戦略マネジメントについて、内部研修により職員の機運醸成に努めているほか、区内事業者との意見交換を行っている。

«杉並区の人口・面積・立地»

人口約58万人 面積34.06km²
東京23区の西部に位置



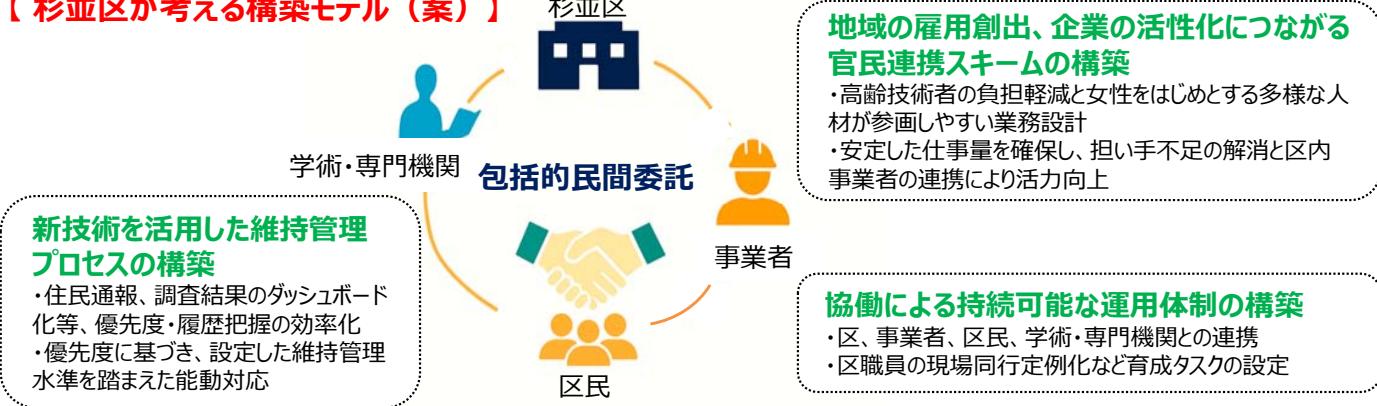
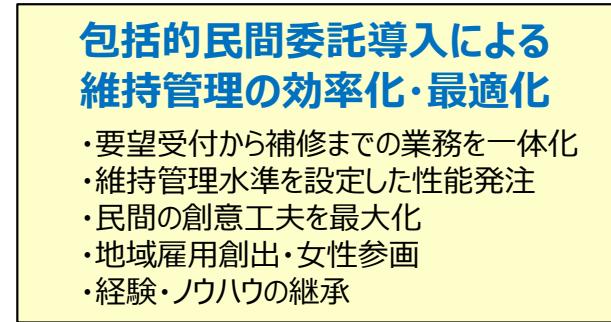
«公共施設の概要»

道路約983km、公園339箇所、
橋梁118橋、河川約19km、
公共溝渠約35km

②課題解決の方向性等

杉並区では、道路・公園等の多分野連携による包括的民間委託（包括管理）を導入し、持続可能なインフラマネジメントモデルの構築を目指す。

【杉並区が考える構築モデル（案）】



③課題解決のイメージ・効果

- インフラの維持管理に係る職員の業務効率化と適正配置並びにインフラ維持管理水準の維持・向上
- 維持管理プロセスのモデル化（台帳・データ統合、データ連携、点検効率化）
- 区内事業者の活性化、地域雇用の創出、女性参画のモデル化
- ノウハウや要望対応方策等の知見の蓄積・共有による組織力向上
- 維持管理要望の受付・対応の一本化・迅速化

その他

当区では、上記記載の取組状況のとおり積極的に業務効率化を進めており、包括的民間委託については以前より検討を進め、内部研修や区内事業者と意見交換を行っております。
本モーデリング事業を契機に検討を加速化し、本格的な実施に移行できるよう進めてまいりたい。
また、業務効率化だけでなく、技術力の継承や地域雇用など、幅広い視点で検討をしていきたい。